

## 知恵と力を出し合う 市民協働のまちづくり

### 「平成26年度市長との対話集会」「市民協働まちづくり推進交付金事業実績」

#### ■「区長と市長との対話集会」 フリートークで意見交換

区長と市長が対面して、さまざまな地域課題や要望、市が進める各種施策等について意見交換する対話集会を1月27日・リフレこかい、2月7日・大宝公民館、2月11日・市立図書館で開催しました。中学校区を単位とした3会場に延べ113人が参加しました。

集会は、まずは稲葉市長が市の動向や財政状況を報告。続いてフリートークで、区長からの意見や質問、地域の要望などとその場で稲葉市長が回答し、活発な意見交換が行われました。道路やごみ対策など市民生活の安心・安全に直結する要望が多い中で、「元気に過ごしている高齢者をもっと活用して地域の活性化を図れないものか」と、老人力を生かした市民協働のまちづくりを提案する建設的な意見もありました。

これから地域の要望や意見を取りまとめ、市政運営に反映させながら、さらに「市民協働のまちづくり」を進めていきます。



稲葉市長に地域の要望などを説明する区長（1月27日、リフレこかいで）

#### ■「まちづくり講演会」を対話集会に併せて開催

人口減少・少子高齢化社会による問題は、地域コミュニティ活動の停滞や空き家問題など、さまざまな形でその兆しが出ています。自治区長連合会では、将来起こる現実に向き合っていくには、行政の力だけでなく、今こそまちづくりの基盤である地域コミュニティの重要性を認識していくと、「市長との対話集会」に併せて「まちづくり講演会」を実施しました。

講演会は、石岡市区長会の佐藤信夫会長が講師となり、花いっぱい運動や悪臭漂う水源の蘇生を通じて、町内会の団結と人材育成を実現した「東の辻二部町内会」の活動事例を紹介。10年かけて造成した東の辻水源の遊歩道が東日本大震災で崩壊し、その現状復旧に75歳前後の会員が黙々と復旧しているのを見かねて、45歳以下の会員たちが立ち上がり、青年部が結成されました。

佐藤会長は「若い人たちは、年寄りが地道に活動しているのをずっと見てきた。『花づくりは、人づくり』をモットーに活動を続けてきたことが力となり、若者が気づき、自ら行動してくれた。『継続は力なり』です」と強調しました。



40年続けた「花いっぱい運動」などを振り返り、青年部の発足の経緯を語る佐藤会長

#### ■「市民協働まちづくり推進交付金」で地域の交流・活性化を支援

市では、地域および市の活性化を図るため、市民団体が自主的に行う市民協働の事業に対して、交付対象経費の3分の2以内で10万円を限度に「下妻市市民協働のまちづくり推進交付金」を交付しています。平成26年度は、7団体の応募から6団体が採択され、地域交流事業や環境美化事業が行われました。

この交付金事業は、平成27年度も継続する予定です。下図の採択事業などを参考に、皆さんの地域で活動してみたい事業があるときには、市役所本庁舎の市民協働課に相談してください。

問い合わせ 市民協働課 ☎43-2114

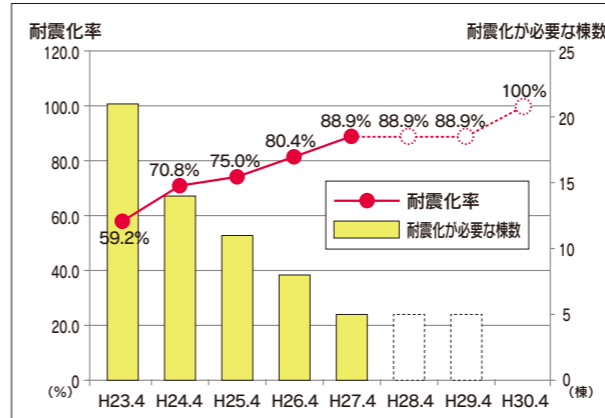
#### 平成26年度下妻市市民協働のまちづくり推進交付金一覧

No.	団体名	事業名及び事業内容	総事業費	対象経費	交付申請額	備考
1	蚕飼地区まちづくり推進委員会	【地域イベント開催事業】 地域住民でやすらぎの里公園をイルミネーションによる装飾を行い、あわせてクリスマス会を開催する。	300,616	246,375	70,000	申請2年目 1/2補助
2	栗山商店会	【「くり8くん」ランタンづくりで町おこし 商店街でコミュニケーション】 栗山商店会で、地域の小中学生・高校生と一緒に、ランタンや廃油でろうそくを作り、11月に点灯式を実施し、11月～1月まで各商店や下妻駅前ランタンを設置し、見学者と地域との交流を図る。	137,498	104,565	52,000	申請2年目 1/2補助
3	別府コミュニティセンター運営委員会	【高齢者とのそば会】 コミュニティセンターの運営委員が高齢者にそばを用意し、コミュニティセンターで交流を持ちながら食べる。	31,160	31,160	14,000	申請2年目 1/2補助
4	さぬま・桜の会	【砂沼の桜ソーラーLEDイルミネーション】 「冬でも見られる桜」をテーマに桜色のイルミネーションの装飾をして「魅せる砂沼」を目指す。12月から2月までイルミネーションを点灯し、話題・注目を集め砂沼周辺の活性化を図る。	213,310	213,310	100,000	申請1年目 2/3補助
5	大宝緑町自治区	【地域住民による環境整備事業】 地域内の2か所のごみ集積所を、地域住民が整備を行い害鳥被害を防止する。	130,004	130,004	86,000	申請1年目 2/3補助
6	別府西自治会	【きれいで安全な自治区】 地域住民で刈払機で道路の脇の草刈りや不法投棄のごみの回収を行い、子どもたちの登下校の安全確保や野菜の盗難を防ぐ。	35,182	35,182	20,000	申請1年目 2/3補助
計			847,770	760,596	342,000	



平成27年2月に耐震補強・改修工事が完了した上妻小学校の校舎

#### 下妻市の耐震化の進捗状況（公立小中学校）



市では現在、下妻中学校の校舎については「建て替え」により耐震化を図る計画を進めています。同校校舎の改築工事が計画どおり平成29年度末に完了した際には、本市の公立学校施設の耐震化率が100%となります。市民や地域での安全・安心への意識が高まる中、耐震化の早期実現を目指していきます。

平成26年度で基本設計をまとめ、平成27年度には実施設計、平成28年度からは改築工事に着手できるよう、計画的に進めていきます。基本設計の概要（完成予想図、施設配置図など）は、広報しもつま2015年4月号で紹介する予定です。

**補強工事の予定を前倒しし、耐震化を促進**

市内小中学校の校舎および体育館の26棟が「耐震化」または「建て替え」の工事が必要と判定されました。そのため、市では学校施設の耐震化を最優先で取り組み、耐震化の早期実現を目指して工事等を計画的に進めてきました。

平成24年4月には東部中学校の新社舎への移転。平成25年3月末には市内全小中学校の体育館の耐震化を

**平成29年度までに公立学校施設の耐震化率100%を目指します**

完了させ、児童生徒の安全・安心を図るとともに、災害時における地域住民の避難所としての機能を確保しています。

平成26年度の耐震化工事では、下妻小学校南校舎と上妻小学校校舎に、1年前倒しした高道祖小学校校舎を加えて3棟を実施。今年2月末の完成をもって市内全小中学校の耐震化が完了しました。



宗道小学校体育館の玄関前に設置された防災倉庫（平成26年8月設置）

**災害に強いまちづくりを推進  
防災拠点の整備も進めています**

東日本大震災の教訓から災害時に備え、地域の避難所となる学校施設に、クラッカー等の非常用備蓄食料や発電機、毛布などの備蓄品の整備を進めています。

備蓄品の保管場所がない学校施設には「備蓄倉庫」の設置を進めており、平成26年度末までに市内全小中学校で備蓄品保管場所の整備が完了します。

万が一の災害に備え、自分の住んでいる地域の避難所を、家族みんなで事前に確認しておきましょう。

# 進む 学校施設の耐震化

**市内全小中学校の耐震化が完了しました**

下妻市では、学校施設の耐震化を最重要課題として、耐震補強工事を進めています。

平成26年度末には、耐震化が必要な建物は、下妻中学校の校舎5棟となります。

地域の防災拠点や生涯学習の場として、さまざまな機能を担う学校施設の耐震化の状況を紹介します。